

科目名	保育実習Ⅰ（保育所・施設）					開講 キャンパス	神 園
担当者	櫻 井 京 子・二 宮 貴 之・井 上 聖 子						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	4	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	保育実習は、大学で習得した知識・技能を基礎にして、子どもやその周辺の環境に関する理解を図り、総合的に保育を実践する力を養うものである。実践を通して保育所や施設の置かれている状況や役割を知り、子どもの発達の状況や1日の生活の流れを把握する。また、専門職としての保育士の役割や職務を理解する。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 保育所の置かれている状況・役割を述べることができる。 2) 保育所において各年齢の入所児と接する中で、発達の状況や1日の生活の流れを述べることができる。 3) 各施設の役割・特徴や1日の生活の流れ等を述べることができる。 4) 保育所や施設において、時期や子どもの状況に応じた指導案を作成することができる。 5) 保育所の乳幼児や施設入所児、一人ひとりに応じた援助について述べることができる。 6) 実践を通して、記録のとり方や実習日誌の書き方を学ぶ。 7) 実習先へのお礼状の重要性を理解し、書くことができる。						
学 習 方 法	・ 保育所実習10日間 ・ 施設実習（主として宿泊）10日間						
テキスト及び参考書等	テキスト：①保育所保育指針 解説書 厚生労働省編 フレーベル館 ②「幼稚園教育実習」「保育実習」の手引き（本学子ども学部発行） 参考図書：③保育園 幼稚園の実習 完全マニュアル 林幸範・石橋裕子編著 成美堂出版						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート			○	○	5		
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			○	○	5		
その他	○	○	◎	○	90		
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
	保育実習指導Ⅰに基づき、保育所実習（10日間）施設実習（主として宿泊10日間）を展開する。実習は観察・参加や実習指導者の指導に基づいて指導案を作成し、責任実習等を行う。また、実習した内容は実習日誌に詳細に記録する。実習の前後に、オリエンテーションと事後指導等を受講し、各実習を充実かつ効果的なものにする。						
備 考	・ 体調管理を十分に行い、遅刻・早退・欠席をしないこと。 ・ 実習日誌、指導案等の提出期限を厳守すること。 ・ 授業外学習（事前学習・事後学習）を適宜行うこと。 ・ 学生便覧の実習の履修内規を熟読すること。履修内規に反した場合は実習に参加できない。						